



森脇 徹 議員

公共施設再編で市民の合意と納得えられるのか。図書館集約化と消防分遣所の集約化

問

司書増員や開館時間変更で、市民利用に貢献する図書行政を

答

誰もが読書を楽しめるよう、地域サロンやカフェなどへの訪問貸出について協議を進めています

問

1・9倍の図書施設あつての県図書行政に貢献している。図書館行政の中で司書の増員、開館時間の変更などを決めたが、市民利用に大きく貢献することになるのか。

答

教育総務部長

図書館へ行きにくい方への新たな取り組みが必要な課題であることから、図書館の規則改正を行いました。障がいの有無や年齢に関係なく、誰もが読書を楽しめる地域社会を目指し、地域のサロンやカフェなどへの訪問貸出について、現在、福祉関係者と具体的な協議を進めています。今後、図書館協議会や関係者のお声も聴きながら取り組めます。

その他の質問

・2112件農地の荒廃田と優良農地における遊休農地の復田対策を

・学童保育での待機児童の早期解消と学童児童条例の充実を

問 第2期公共施設再編計画案で、市民の安心安全の砦、消防分遣所の統廃合がなぜ検討にあがるのか。

答 消防長

マキノ救急分遣所は、市北端地域等の救急需要に迅速に対応する役割を担うほか、救急隊として消防や救助の部隊に編成され、市域全域に初期段階から出動する任務にも従事しています。こうした対応に向け、更なる機能の強化や向上を図るため、北部消防署との連携や一体的な活動も視野に入れ、限られた消防の人

材や機能の集約等を含め、その検討を進めなければならな

問

マキノ救急分遣所からの出動件数は。

答 消防長

令和5年の実績で、マキノ救急分遣所から出動した件数は445件です。

問

図書館・図書室は、半減計画の対象外とすべきではないか。

答

教育総務部長

本再編計画案の市立図書館

の方向性は、マキノ・朽木・高島・新旭の地域館では「施設の老朽化や今後の需要を踏まえ、中核館への集約化のほか、地域内の他施設への複合化を検討」するものです。本市の図書館規模は、市民一人当たりの延床面積が県内平均の1・9倍と高い状況であり、本再編計画案の趣旨・目的に合致し、本計画案の対象外とする理由はないものと考えております。